

女子7人制ラグビー

桑井(幕別出身)日本代表に

元陸上選手 競技歴1年で



スポンサーのロゴ入りユニホームを披露するラグビー女子7人制日本代表メンバー。前列右から2人が桑井亜乃=21日、東京都

女子7人制ラグビーの日本代表に幕別町出身の桑井亜乃(23)が選ばれた。フル代表選出は初めて。

桑井は帯広農業高、中京大卒。学生時代は円盤投げで活躍した。7人制ラグビーは大学卒業後の昨年4月

から本格的に始め、7月には世代別の日本代表に選ばれた。同競技は2016年リオデジャネイロ五輪で正式種目に採用される。

桑井は同代表のアメリカ遠征(28日~2月12日)の14人の中に選ばれ、2つの国際大会に出場する。「十勝を含め、女子ラグビーを多くの人に知ってもらえるよう頑張りたい」と話す。

浅見敬子ヘッドコーチは桑井について、「ラグビー歴は1年だが高い身体能力が武器。トレーニングの成

果を国際大会で発揮してほしい」とコメントした。

(池谷智仁)

女子に初スポンサー代表の愛称も募集

日本ラグビー協会は21

日、女子日本代表(15人制と7人制)のスポンサーに大正製薬と太陽生命保険の2社が決まったと発表した。女子7人制日本代表は6月のワールドカップ(W杯、モスクワ)の出場権を獲得し注目度も上がっており、女子日本代表を対象にした初のスポンサー契約が決まった。

東京都内で開かれた記者会見では、協賛社のロゴ入りのユニホームが披露された。女子7人制日本代表の中村知春キャプテン(PH OENIX)は「6月のW杯でいい成績を残し、3年後の五輪で金メダルを目指したい」と抱負を語った。

また、日本協会は15人制と7人制の両女子日本代表の愛称を募集する。同協会の公式ホームページから応募可能。